



桃一通信

No. 6 4 8

桃井第一小学校
(3390)3178(代)

令和3年 1月号



学力向上

校長 高橋 浩平

2021年が始まりました。新年あけましておめでとうございます。今年のお正月は、外出を控えて家で過ごす人が多かったのではないのでしょうか。3学期がスタートしても、新型コロナウイルスの感染予防は欠かせません。皆様ご存知の通り、緊急事態宣言が発出されました。6月の頃と同様に、感染予防レベルを引き上げることにしました。保護者の皆様、引き続き「健康カード」の記入をよろしくお願ひします。そして、手洗い、マスク着用、換気の徹底、消毒を繰り返し子供たちには指導していきます。ご家庭でもより一層の感染予防の取り組みを、どうぞよろしくお願ひします。

さて、本校の学校経営の柱の一番に「学力向上」を掲げています。学校が「学ぶ場」であり、子供たちが「かしこい人」になることを考えれば、何よりもまず学校の使命は「学力向上」ではないかと思ひます。

では、学力とは何でしょうか？いわゆる受験学力だけを指している訳ではありません。文部科学省は「生きる力」と表現し、①知識及び技能②思考力、判断力、表現力等③学びに向かう力、人間性等、の3つの観点で説明しています。また学力とは「学校で学ぶすべての力」と説明される方もいます。

昨年、区の幼児教育公開に参加してきました。また年末には6年生が井荻中の見学に行ってきました。学習指導要領では「学校段階等間の接続」という表現で、幼児期の教育との接続、中学校教育及びその後の教育との接続を円滑に進めるように示しています。また杉並区では長年にわたり「小中一貫教育」「子小（幼保小）連携教育」を進めてきました。こうし

た流れの中で学力もとらえたいと思ひます。

幼児期の教育は「遊び」が中心の活動です。しかしその「遊び」の中に「学び」があり、学力をつけるために必要な主体性・意欲等を育てているといえるでしょう。中学校教育は義務教育最後の3年間、これも小学校で培う6年間の教育が土台にあってこそ中学校で学習が充実するのだと考えています。言い換えれば「幼児教育で培った力をもとに小学校時代にしっかりと学力をつけることが中学校教育の充実につながる」ということでしょうか。

そのためには、子供たちの今ある力を発達の視点でとらえて、「ここを援助すればできるのではないか」「こうしたヒントを出せばできるのではないか」と考えて実行することが重要だと考えています。本校では拙いながらもインクルーシブ教育を進めていますが、そのスローガンとして「できないことをほったらかしにしない」と掲げています。生涯学習という言葉があります。人間は一生学ぶことができるし、学んで成長することができると思ひます。一人一人の子供たちが意欲をもって学び続けることができる、そうした力をつけていくことが「学力」の核心ではないかと思ひます。

そのために、私たち指導者も学んでいかなければなりません。さきにあげた幼児教育公開をはじめ、先生方はいろいろところで学んでいます。私たち大人も「学びを止めない」ことが子供たちに対しても一つの範となるのではないかと思ひています。

1月に予定されていた桃一美術館は3月に延期しました。しばらくは我慢の日々が続きますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

学校ニュース

* 4年3組担任の山口あゆみ教諭が産休に入りました。3学期から穴井佑未子教諭が担任となります。

* 第17回すぎなみ本の帯アイデア賞で、次の2名が入賞しました。

「本の帯コピー賞」 4年 二宮直也 「アイデア賞」 4年 田中 良明

* STN杯で、桃一小サッカークラブAチーム（5・6年）、Bチーム（3・4年）が2位になりました。

* 東京ヤクルトスワローズカップ争奪・第37回東京23区少年軟式野球大会で、桃一小野球クラブ低学年（4年生以下）が準優勝しました。

* 杉並区学童軟式野球第43回秋季大会・高学年の部で、桃一小野球クラブが3位になりました。

1月の生活目標

「言葉やあいさつについて考えよう」

3学期のスタートの朝、みんなと久しぶりに会う学校では、「おはようございます!」「明けましておめでとうございます!」と、元気な声が聞かれました。新しい年を迎えた清々しい気持ちもあってか、いつもより明るい表情で挨拶をしてくれたので、嬉しい気持ちになりました。

1月は、桃一小的の合言葉『4つのあ』—「あんぜん」「あいさつ」「ありがとう」「あつまり」のうち、「あいさつ」と「ありがとう」を意識して励みます。合わせて、あいさつ標語づくりにも学校全体で取り組みます。

標語として表現することを通じて、挨拶に込める思いや大切さについて、日常を振り返って子供たちはじっくり考えます。出来上がった標語からは、ご家庭でもいろいろな形であいさつの大切さを伝えてくださっていることが伺えます。また、子供ならではの素直な表現もみられ、顔がほころんだり感心させられたりします。挨拶の気持ちよさが、人と人を繋ぐよさに繋がることを、保護者の皆様と共に伝えていきたいと思えます。

学校では年間を通じて代表委員が中心となりあいさつ運動も行っています。3学期も、子供たちから、自然とあいさつが広がっていく環境づくりを進めていきます。



3学期の行事予定の変更について

○書き初め展

1月18日(月)～23日(土)に予定していました書き初め展は、中止いたします。

○桃一美術館

1月21日(木)～23日(土)に予定していました桃一美術館は、3月4日(木)～6日(土)に延期いたします。また、桃一美術館の日程変更に伴い、3月の土曜授業を13日から6日に変更いたします。

○保護者会

2/25(木)、3/2(火)、4(木)の各学年の保護者会は、今のところ実施予定ですが、状況に応じて変更する可能性があります。

なお、縦割り班活動やクラブ活動などの異学年で行う活動は、中止または延期といたします。詳しくは、今後の桃一通信や学年だより等でご確認ください。

書き初め展



書き初めは、もともと正月二日の宮中行事として文字の上達を願って行われました。元日の朝早くに汲んだ「若水」を使って墨をすり、その年の恵方に向かって、おめでたい意味の句や詩歌を書いたのが始まりだそうです。

子供たちも、日本古来の伝統「書き初め」の練習を12月から始めました。一年の意気込みを、力強く美しい文字で書こうと頑張っています。

各教室で清書したものを、教室前の廊下に展示いたします。今年度は展示期間を18日(月)～23日(土)とさせていただきます、多くの皆様にご覧いただきたいと思っております。なお、感染予防のため、短時間での鑑賞をお願い致します。

日時：1月18日(月)～23日(土) 場所：各教室前の廊下

5年生 2学期の取り組み



5年生は、あと3か月で6年生へと進級します。休校が明けて学年が始まったときから、「挑戦」「思いやり」「自律」「協力」「全力」を大切にがんばってきました。2学期は、「モモリンピック」「社会科見学」「マラソン大会」と多くの行事があり、たくさんの成長がありました。6年生へ向けて、さらなる成長ができるように3学期もがんばっていきます。

社会科見学では、グリコピアイーストと鉄道博物館に行きました。グリコピアイーストでは、ポッキーやプリッツの製造過程を見学し、製品の生産工程や働く人々の工夫や努力を知りました。

鉄道博物館では、技術の進歩や新しい科学技術を学び、自分たちの暮らしとの関わりを考えました。



6年生 2学期の取り組み



2学期に入り運動会の係活動、クラブ活動や委員会活動、たてわり班活動などができるようになりました。それらの活動を通し下級生と交流することができました。たてわり班活動では、初めは下級生をリードすることに戸惑いや難しさを感じていましたが、回を重ねるごとに頼もしくなっていく様子を見ることができました。3学期も最高学年として活躍していきます。

弓ヶ浜移動教室を実施できなかったため、代替のイベントを実施しました。午前には実行委員の児童が中心になって企画した「桃ーパワーモーニング」、夕方はおやじの会の協力を得て、キャンプファイヤーや校内ナイトハイクを行いました。普段の学校生活ではなかなかできない体験をすることができました。

